受賞製品 CLOSE UP

Bluetooth完全ワイヤレスイヤホン/ノイズキャンセリング(1万円以上1.5万円未満)

AVIOT TE-D01v

金賞 企画賞

¥11,990(税込)

音質も使い勝手もこだわり抜いた

アクティブノイズキャンセリング機能を搭載した、エントリー価格帯の完全ワイヤレスイヤホンが揃えています。ノイズキャンセリングは便利な機能ですが、消音の効果が強いだけではなく、音質や使い勝手などの部分で心地よさへの配慮も必要であり、音楽リスニングだけでなく、リモートワークでも使用するモデルとしてストレスがないのが理想です。AVIOTの「TE-D01v」は、エントリークラスのモデルながら、同社ならではのこだわり抜いた良質なサウンド、そして自然なANC効果を併せ持っています。またコンパクトで持ち運びやすく、イヤホン単体で最大9時間の連続通話に使えるスタミナも驚異的です。マイク性能も良好で、筆者はオンライン形式のインタビュー取材にも本機を愛用しています。(山本 敦)

DETAIL

ハイブリッドアクティブノイズキャンセリング機能と外音取込モードを搭載。アプリ「AVIOT SOUND ME」では、ノイズキャンセリング効果のレベル調整なども行えます。10mmダイナミックドライバー、IPX4相当の防水性能も採用。カラーも豊富で、アイスグリーン/ラベンダー/ライムイエロー/ホワイト/ブラック/ネイビーを揃えています。

Bluetooth完全ワイヤレスイヤホン/ノイズキャンセリング(8千円未満)

AVIOT TE-D01q2

金賞

¥7,920(税込)

ヒットモデルが劇的にレベルアップ

10万台以上の販売を記録した大ヒットモデル「TE-D01q」を、さらに磨き上げたのが「TE-D01q2」です。人気のデザインはそのままに、イヤーピース形状を見直すことでフィット感を高め、アクティブノイズキャンセリング効果も向上、通話品質も改善させるなど、あらゆる部分をブラッシュアップ。再生時間もイヤホン単体で11.5時間の長時間を達成しました。約10分の充電で90分使用できる急速充電機能、2つのデバイスと接続を維持できるマルチポイント機能対応など、テレワークに嬉しい機能も満載です。「Japan Tuned」を掲げる本ブランドならではの、まとまりが美しい実力派のサウンドも特長です。高機能と高音質を、手頃な価格で実現したコストパフォーマンスの高さも見逃せません。(鴻池賢三)

DETAIL

同社のアルゴリズムに基づいた広帯域のノイズ低減を実現するアクティブノイズキャンセリングを搭載しています。イヤホン本体とチャージングケースの併用で、最大34時間の連続再生時間を実現。新開発のイヤーピースは、従来以上に遮音性を高め、SS/S/M/Lの4サイズを用意し、着せ替えが可能な2色のイヤーウイングも同梱しています。

豪華賞品が当たる! お楽しみアンケート実施中。携帯電話/スマートフォンから、今すぐアクセス! >>>

Bluetoothインナーイヤー型ヘッドホン(1万円以上1.5万円未満)

AVIOT WE-BD21d-pnk

金賞

¥13,750(税込)

精緻で静けさが印象的なサウンド

「WE-BD21d」をベースに、ピエール中野氏がサウンド監修に当たったモデル。ベースモデルより精緻で静けさが印象的なサウンドで、音質や機能面のよさから「Bluetoothインナーイヤー型ヘッドホン(1万円以上1.5万円未満)」で金賞受賞を果たしました。BA型2基とダイナミック型1基を備えるハイブリッドドライバー方式で、左右間を繋ぐケーブルはOFCを採用。ハイレゾ級の伝送が可能なaptX HDコーデックにも対応しています。充電ポートもUSB Type-Cへ更新、外音を取り込める低遮音性イヤーピースを同梱するなど、使い勝手も向上しました。(岩井 喬)

Bluetooth完全ワイヤレスイヤホン/ノイズキャンセリング(1万円以上1.5万円未満)

AVIOT TE-D01m2

受賞

¥14,850(税込)

前期「VGP2022」では、ワイヤレス大賞と金賞を受賞した「TE-D01m」を改良し、ハイブリッドANCとSnapdragon Sound対応を追加した意欲作です。最新技術とトレンドを惜しみなく投入した本機は、音質・機能ともに完全ワイヤレスイヤホンのベンチマーク的存在で、文句なしに推奨できるアイテムです。(海上 忍)

Bluetooth完全ワイヤレスイヤホン(1.5万円以上2万円未満)

AVIOT TE-BD21j-ltd

受賞

¥19,800(税込)

Snapdragon Soundに対応した最高級モデルで、「Bluetooth完全ワイヤレスイヤホン(1.5万円以上2万円未満)」で部門受賞を獲得。Knowles製・BA型を2基、PU+紙コンポジット振動板を用いたダイナミック型を1基搭載したハイブリッド構成で、深みのある低域と高解像度かつ鮮やかな高域再生を実現しました。(岩井 喬)

豪華賞品が当たる! お楽しみアンケート実施中。携帯電話/スマートフォンから、今すぐアクセス! >>>

VGP2022 SUMMER